



市の花
なのはな



市の木
さくら



市の鳥
ひばり

つくばみらいの

学 校 紹 介



第5回

～板橋小学校～

本校は、明治22年（1889年）、小張尋常小学校より分離し、永寿院を仮校舎として板橋尋常小学校として開校しました。今年で創立118年を迎え、伝統ある板橋不動院の隣にある学校としても有名です。現在、児童数は506名、特別支援学級を含め18学級ある大規模校です。

学校教育目標を「心豊かでたくましく生きる力の育成」とし、めざす児童像を「未来に^{かけ}翔る板橋っ子！！①意欲のある子②楽しく学ぶ子③ばばんかいてできる子④親切な子」として日々の教育活動に取り組んでいます。特に様々な体験的学習を取り入れ、心豊かでたくましく生きる力の育成を目指していることが特徴です。その体験的学習をいくつか紹介します。



5月13日に、日本を美しくする会「茨城掃除に学ぶ会」の協力を得て、全校クリーン作戦を実施しました。今年で3年目の取り組みです。全校児童の他に掃除に学ぶ会から約100名、希望した保護者から30名、総勢約660名の方が参加されました。学校内のトイレを中心に、昇降口や校庭の除草作業、隣の板橋不動院の待合所のトイレ掃除も行いました。掃除に学ぶ会の方が各班のリーダーとなり約2時間、本当に隅々まできれいにしました。本校のトイレは校舎が古いために様々な問題がありますが、この取り組みをしてからはトイレ独特のいやなおいが解消するようになりました。1年生から6年生の児童一人一人が一生懸命にトイレをきれいに掃除している姿は本当に素晴らしいです。掃除に学ぶ会がトイレ掃除に取り組む目標は、①心を磨く②謙虚な人になれる③気づく人になれる④感動の心を育む⑤感動の心が芽生える、の5つです。その精神をトイレ掃除を中心とするクリーン作戦から学ぼうとする取り組みです。



次にEM菌を利用したプール浄化活動です。小張在住の方のご協力を得て、プール掃除の時期にEM菌の投入をしています。



この取り組みは4年目となります。4月末に全校児童がペットボトルにお米のとぎ汁を入れて持ってきて、それにEM菌を入れ約2週間培養します。5月になると、それをプールに投入し、一ヶ月放置します。一ヶ月の間にプールは随分と透明度を増し、きれいになっていきます。EM菌がプールの藻を食べ、浄化してくれるのです。おかげで、6月上旬のプール掃除の時は大変掃除しやすくなりました。排水したEM菌は地域の下水の浄化にも役立っていることと思います。

また、1年生から6年生を縦割りにして異なる学年で班を編成し、さつまいも栽培に取り組んでいます。学校近くの畑をお借りし、6月5日には全校児童で苗植えをしました。7月には全校児童で除草作業、夏休みにも2回親子で除草作業を行いました。そして、秋には収穫を行います。今年は10月27日(土)に予定していますが「板橋祭」では、収穫したさつまいもを利用してPTA役員さんがさつまいもカレーなどを作ってくれます。みんなで食べるさつまいもカレーはとてもおいしいです。

また、児童会の児童委員を中心に、1年間の中で何回かの運動期間を決め「あいさつ運動」に取り組んでいます。正門や北門に児童委員や先生方が並んで、あいさつを呼びかけています。「一日のスタートは、まず明るいあいさつから」を目標に児童が主役となって取り組んでいます。1学期には6年生が自主的にこの運動に参加し、運動の盛り上がりが見られました。「板橋小の児童は学校内ではあいさつできるが、地域ではあまりあいさつができない」との状況もあるので、何とか改善したいとの思いもあり、PTA役員さんにも協力をいただき取り組みを強めているところです。



PTA役員さんをはじめ、保護者の皆さん、地域の皆さん、青少年育成つくばみらい市民会議板橋支部の皆さんなど多くの方々にご支援をいただいています。皆様のご期待に添えるよう、全校児童、全職員、これからも精一杯努力していきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。